

# 行動科学プログラム

平成26年度卒業生

論文名
睡眠習慣が大学生の抑うつに及ぼす影響
ラットにおける安定的な遅延調整課題の検討
タッチスクリーンを用いたラットの運動方向弁別課題の検討
2020東京五輪開催に伴う経済効果の測定とその開催の是非
ドイツにおける経済変数がパフォーマンスに与える影響についての研究
日本の年金制度の将来
党内の派閥化による民主党政権の問題～代表選出選挙を中心に～
細川政権の国民福祉税構想に関する一考察
平成の大合併はまちづくりにどのような影響を与えたか ～東広島市を事例として～
市町村合併と地方自治体の今後の展望-北海道岩見沢市と北海道伊達市を事例として-
沖縄返還交渉における日米外交外務省ルートとバック・チャネルの連関について
戦中期における東条内閣の再検討
服装の組み合わせの感性的判断に対応する事象関連電位
フラストレーションが認知処理に及ぼす影響
擬人化がかわいい感情と向社会性に及ぼす効果
座位姿勢の違いが仮眠内容とその効果に及ぼす影響
朝食の摂取が午前中のパフォーマンスに及ぼす影響
二度寝による睡眠内容・起床後の状態への影響
集団メンバーの信頼感を高めるリーダー行動の検討
インターネット上のコミュニティの心理的機能に関する研究
集団環境とジェンダーの自己ステレオタイプ化に関する研究
リーダーの公正さがフォロワーの罰の受容に及ぼす影響
リーダーシップの共有を促進する要因に関する検討
防衛的悲観主義者の対人場面における適応性
仮想的有能感における攻撃行動に承認欲求が与える影響
イメージ中の視点と情動の生理的背景に関する研究
事象関連電位を用いた睡眠中の運動学習促進に関する検討
明晰夢の実態調査、及び明晰夢時の時間計測中の脳活動の検討
レム睡眠中の情動記憶固定過程に関する検討